

中央区地域福祉アクションプラン

中央区あなたも私もみんなが主役

平成20年度は、プランの柱を大きく次の3点に絞って取り組みました。

- 1 地域における取組みを中心としよう
- 2 地域支援システムとの連携を図ろう
- 3 地域福祉活動の担い手同士の、出会いの場を作ろう

平成20年度 取組み報告

障がいのある人への理解の機会づくり

「HANDSちゅうおう」※を中心に、障がいのある人への理解の機会づくりの事業に取り組んでいます。

※HANDSちゅうおうは、中央区地域福祉アクションプランのなかで、「参加者の私たちでできることから課題解決のために活動を始めてみよう」ということで生まれました。障がいのある人の支援に取り組んでいる区内の施設、関係団体、グループ、個人等が参加しています。

◎日本ライトハウス行動訓練所の見学会

保健・医療・福祉ネットワーク推進員さんと、「HANDSちゅうおう」のメンバー31名で、平成20年6月24日に、千早赤阪村にある日本ライトハウス行動訓練所(盲導犬訓練部)へ見学に行ってきました。指導員の方から視覚障がいについての基礎知識や盲導犬の生い立ち、現状について説明をしてもらいました。

参加者からは「すごく勉強になった!」「これをきっかけに地域の方と施設が仲良くなり、一緒になにかできれば」といった声があがりました。



◎地域の行事に参加

平成20年10月5日(日)

「空堀・桃谷ふれ愛まつり」でバザーを出店。

平成20年10月26日(日)



「島之内ふれ愛フリーマーケット」でバザーを出店し、みたらし団子も販売しました。

支え合いのマップづくり

平成20年3月に開催した「地域福祉フォーラム」で、アクションプランの推進を通じて「地域で助け合いの輪をどうつくっていくか」というテーマで、住民流福祉総合研究所の木原孝久所長をお招きし講演会を開催しました。

木原先生は、「住民の支え合いマップ」を提唱してこられ、「地域では、福祉の制度が拾いきれない日常的な『すき間』がたくさんできてしまっている。この支え合いのマップ作りをとおし、地域の様々な課題が見えてくる」とマップ作りの重要性をお話されました。

今年度は、この講演会の内容を実践していくものとして、木原先生を講師として、保健・医療・福祉ネットワーク推進員さんや民生委員さん、町会長さん、住民の皆さんにご参加いただき、“住民がご近所でどのようにふれあい、助け合っているのか？要援護者はどのように生活を行なっているのか？”を1つの地図に集約することにより具体化し、実態を把握していくノウハウを学びました。

平成20年11月10日(月) 第1回マップづくり

○講義「住民流の助け合いのあり方とマップづくりの方法」

○先生が用意された模擬マップを使つてのマップづくり



11月26日(水) 第2回マップづくり

○いよいよ実際のマップづくりです。それぞれのご近所ごとにグループを作り、実際の住宅地図に、みなさんの知っている情報を記入していきました。

○作成したマップから見えてきた、地域の課題・今後の取り組み等を考え、発表し合いました。



12月9日(火) 第3回マップづくり

○「助け合い起こし手帖」に記入しました。

平成21年3月26日(木) 地域に向いてのマップづくり

地域における子育て支援

子育てサロン等を通じた町会等地域団体と子育て層の方々の交流を進めています。また、平成18年度に作成した中央区子育て応援マップ【てくてくナビ】※の改訂作業に毎年取り組んでおり、各地域に住む「子育て情報の集約化事業」実行委員の生の情報を基に、平成21年3月末に改訂版を3000部発行しました。

※【てくてくナビ】は、「子育ては大変じゃないよ！楽しいよ」と子育てに役立つ情報をひとつにまとめて子育て中の方々に発信することを目的として作成されました。区保健福祉センター、区役所、ふれあいセンターもも、子ども・子育てプラザ、各地域会館の窓口に設置しています。なお3か月児健康診査時にもお渡ししています。

誰もが身近に情報が得られる地域福祉協力事業者づくり

アクションプラン策定段階の「高齢者いきいき福祉部会」において、委員のひとりから「区役所や区社協、福祉関係団体等より、いろいろな地域福祉関係のリーフレット等が発行・配布されているが、なかなか高齢者世帯や町会未加入のマンション世帯には届きにくいのが現状である。こういった世帯にも福祉情報を伝えられる良い方法はないのか」という問題提起がなされました。

同作業部会で高齢者や新たな住民も日常的に利用する診療所や商店に、福祉情報を伝えるリーフレット等を置いてもらえれば、よりきめ細かい情報提供が可能になるのではないかという結論になり、プランに盛り込まれました。

平成18年度から、東・南医師会、東・南歯科医師会、東・南薬剤師会で実行委員会を立ち上げ、福祉情報を設置可能な診療所等や、可能な情報媒体設置のための手続き等の検討を行いました。そして、今年度、来所者からよくある「高齢者の知りたい情報の問い合わせ先」のポスターを作成し、区内の診療所・店内に掲示していただきました。

中央区地域福祉アクションプラン
ちゅうおう情報ネット

高齢者のみなさん
こんなときはご相談ください。

介護保険の利用時に
関する相談は？
東区
高齢者サービスセンター
(東区)
TEL:06-6947-3271
高齢者一人暮らしで、
お困りです。
市役所、介護サービス
配付サービスをしてほしい。

介護保険の受給額と
認定された人の
ケアプラン作成はどこに
頼めばいいですか？
中央区社会福祉協議会
(中央区センタービル)
TEL:06-6763-8139
認知症などで、
自分で日毎的な食料の
管理ができません。
援助してほしい。

介護保険の
各種申請や届出は？
中央区健康福祉センター
（東区）
TEL:06-6267-9859
認知症や法律行為を
自分で行うことが
困難な人を支援する
制度について？

居宅介護や介護予防の
ために住宅を改修する
必要があります。費用の
助成はありますか？
中央区健康福祉センター
（東区）
TEL:06-6267-9857
高齢者を在宅で
介護していますが、
経済的にかかります。
援助はありますか？

介護保険の審査で
「併存型（自立）」に
なると、自分で申請が
受けられない場合は？
大東市立住い暮らしセンター
TEL:06-6242-1177
認知症の高齢者や
高齢者のみの世帯で
高齢や火災防犯などの
ことなら、いろいろ
あります。

自分で済み
(管理費・雑費のみ)を
得ていません。

(社)大阪市東医師会 (社)大阪市東歯科医師会 大阪市中央区東薬剤師会
(社)大阪市南医師会 大阪市南歯科医師会 大阪市中央区南薬剤師会

地域・安全・見守りネットワークづくり

高齢者の見守り等をめざした地域のネットワーク作りや、地域の催しでの講習会の開催などに取り組んでいます。

平成20年10月2日

「防災講習会」を開催（東老人福祉センターと共催）

10月29日

「意識を高めよう！防災・防犯学習会～一人ひとりの心がけと地域で取り組む
防災・防犯の今」を開催（南老人福祉センターと共催）

12月7日

東平地域の防災訓練に参加させていただき、アクションプランのブースを設置し、防災クイズの出題や、アクションプラン版防災標語を活用して啓発イベントを行いました。



ご近所さん
あなたの一声
助けになる

中央区民まつりでアクションプランのPRを行いました

アクションプランの啓発・PRのために10月19日に難波宮跡で行なわれた「中央区民まつり」にブースを設置し、アクションプランの概要版の配布を行いました。

また「中央区さいはっけん♪あなたの声を聞かせてください」と題したパネルを設置し「中央区の好きどころ」「中央区にあったらいいな」「こんな中央区になればいいな」などをテーマに、大勢の区民の皆さまからメッセージをいただきました。



「ふくしわくわくフェスタ～子どももおとなもみんなおいでよ」開催

平成21年3月20日(金)に、午前10時～午後3時を中央区民センター区民ホール・中央区保健福祉センターで行いました。

実行委員会を立ち上げ、内容を検討し、地域福祉アクションプランの活動紹介(パネル展示等)をはじめ、アクションプランや地域福祉活動に取り組む参加者・団体等による子どもの遊びのコーナー、手づくりのコーナー、バリアフリー映画ダイジェスト版の上映コーナー、世代間交流のコーナー、ふれあい喫茶の紹介コーナーなど、区民が楽しく交流できる体験・参加型の内容で、約900名(大人700名うちスタッフ200名、子ども200名)の参加がありました。



アンケートにお寄せいただいた感想の一部

- ・ 昔遊びのコーナーは、現在の子どもたちはゲームばかりしているので、いい勉強になったと思います。
- ・ チアリーディングで元気をもらいました。昔のおもちゃはなつかしかったです。
- ・ 盲導犬、バリアフリー、勉強になりました。子どもと楽しみました!!
- ・ たくさん食べておいしかった。展示コーナーや手話も楽しく参加しました。